

所属高等学校	加治木高等学校
教 科・氏 名	英語・岩川 康彦

1 視察した高校名とその概要

(1) 福井県立敦賀高等学校

市内にある3つの高校の中で生徒数が最も多く、全日制の生徒の多くは市内から自転車で通学する。普通科、商業科、情報経理科を設置。来年度から難関校への進学を意識した「探究科」を新設。今年度の普通科は5クラス。昨年度の国公立大学合格者数は85名。

(2) 福井県立高志高等学校

併設型中高一貫校。内進生が30人×3クラス、高入生が40人×4クラスで、普通科のみだが、進路目標別に類型に分かれており、2年生から単位制。H30年度までSGH指定校。今年度でSSH17年目。昨年度の国公立大学合格者数は184名。

2 視察時期

令和元年9月19日（木）福井県立敦賀高等学校

20日（金）福井県立高志高等学校

3 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて参考になった点（箇条書きで可）

視察した2校に共通する事項

- ・福井県の高校のすべての普通教室にプロジェクターが設置されておりかなりの頻度で使用されている。
- ・高校入試に英検の加点があり、高校生のCEFR・A2レベル以上の割合が56.0%で全国一高い。
- ・コミュニケーション英語Ⅰの授業を週4単位実施している。

敦賀高校

- ・新しい課に入る前に、本文を読みたくなるような導入を行う。
- ・Pre-Reading Activity と Post-Reading Activity を必ず毎時間行う。（それぞれのQを考える。）
- ・各課終了時にはまとめた英文を書かせる。40-50-60語と少しずつ増やしていく。教科担任は添削する。定期考査に出題する。出る問題はあらかじめ教えておく。
- ・読解活動終了後、本文の内容に関連のある初見の英文を扱う。
- ・グループからの Opinion & Ideas を吸い上げ、板書させる。
- ・ワードカウンターを3人で行わせる。（読む人、聞く人、数える人）
- ・授業で学んだことを使って答える問題を定期考査で出題する。概要把握など、共通テストや外部試験につながるような出題を意識する。
- ・1年は週に1時間ずつTTの時間を確保する。

高志高校

- ・「英語活用」，「外部検定チャレンジ」などの豊富な学校設定科目を開講している。
- ・ALTに特別免許を交付し、一人で授業を行ってもらう。（設定科目「Debate, Discussion」）
- ・講義型の授業にしないように学校全体で取り組んでいる。
- ・新入試問題に対応できるよう評価問題を工夫している。（指示文をほぼ英語にするなど）
- ・定期考査の時間以外に作文テストの日を設けている。
- ・8:10から10分間「ラジオ英会話」を流している。（生徒全員テキスト購入）

4 ALの視点からの授業改善に向けて授業に取り入れたいことなど（箇条書きで可）

- ・パフォーマンステストの年間指導計画を提示し、毎学期実施する。
- ・ペア活動，グループ活動の時間を増やす。
- ・簡単には正解を言わない。（とにかく自分たちで分かるまで待つ）
- ・自発的な発言などで授業を引っ張ってくれる生徒を育てる。
- ・新出語句の意味の確認をペアでやらせる
- ・英語の授業は基本英語で行う。